

2016年 活動の軌跡

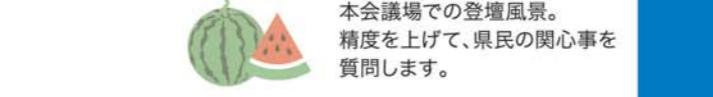
春



秋



夏



冬



地域のお便り

ふじのくにカフェ、はじめました。

昨年9月、浜松のまちなかコミュニティースペースAnyにおいて、約1年ぶりとなる「ふじのくにカフェ」を開催しました。これは、我が会派の所属議員と県内の若者が、喫茶店でおしゃべりするようなカジュアルな感覚で、政治や社会のことについて意見交換を楽しむ場で、今回はおよそ30名が集まってくれました。

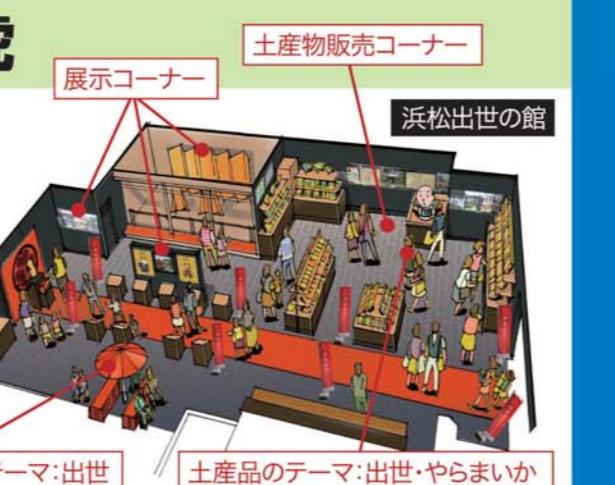
人口減少に関連する4つのテーマに沿ってグループワークを進め、あっという間の1時間半。若者の政治参画に可能性を感じる一方で、政治情報の発信のあり方や、私たち議員のファシリテーションのスキルなどに課題を見つけることができました。次の開催では、より価値あるカフェを目指します！是非お楽しみに！

盛り上げよう！ おんな城主 直虎

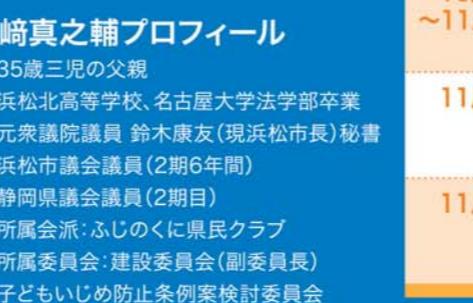
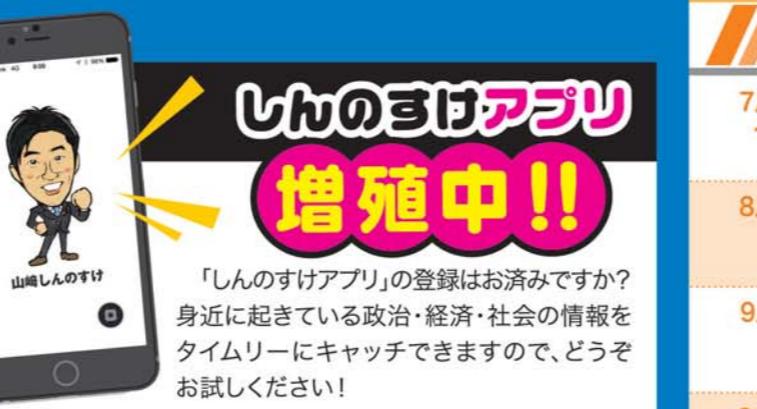
いよいよ放送が始まった今年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」。全編を通じて浜松地域が舞台であるため、地域活性化の起爆剤として大いに活用したいところですね！

そして、この1月からは関連施設として、細江町に「大河ドラマ館」、旧べんがら横町跡地に「浜松出世の館」がオープンします。特に「浜松出世の館」については、観光の玄関口である中心市街地での所在であるため、国内外の観光客に対するPRにはもってこいです。中身としては、展示コーナーと土産物販売コーナーを中心に、関連イベントを適時開催予定。

「出世」「家康」「直虎」をテーマに、もっともっと浜松を盛り上げましょう！！



しんのすけアプリ 増殖中!!



しんのすけ フラッシュニュース

- 7月25日 会派街頭県政報告会**
～26日 県議会の定例会後に必ず実施しているルーティーンで、説明責任を果たします。
- 8月15日 浜松市戦没者追悼平和祈念式**
戦後71年。不安定な世界情勢だからこそ大切にしなければならない行事です。
- 9月 8日 浜松市選出県議会議員との市政懇談会**
浜松市の政治課題を静岡県に届けるため、浜松市長と直接意見交換をしました。
- 9月20日～10月13日 県議会9月定期会**
国の経済対策に呼応して大型の補正予算を審議。閉会日に賛成討論も行いました。
- 10月18日 委員会県外視察**
～20日 北陸三県を訪問し、建設関連の先進事例を調査しました。
- 10月24日 決算特別委員会**
～11月 4日 平成27年度の税金の使い道を審議し、改善点を来年度につなげてまいります。
- 11月11日 第11回マニフェスト大賞授賞式**
地方政治の良い取組みを表彰し、全国に発信することで善政競争を巻き起こします。
- 11月21日 子どもいじめ防止条例案検討委員会**
我が会派が提案し議論を重ねてきた条例が、ついに委員会内で可決されました。

浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン+

静岡県議会議員

山崎しんのすけ通信

増刊号

平成29年1月発行



山崎しんのすけ事務所 | ☎430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

白熱！ 議員ディスカッション

昨年11月14日、静岡文化芸術大学において開催された「議員ディスカッション」にパネリストとして参加し、政治家を志したきっかけや議会活動の紹介、若者へのメッセージなど、会場の学生からの質問にも答えながら、意見を交わして参りました。

このイベントは、静岡県男女共同参画センター交流会議が企画したもので、若者の政治参画を促すことが狙いの一つ。出席した学生のアンケート結果からは、好評の声とともに、こうした機会の拡充を求める意見も多くあり、今後に向けての手応えを感じました！これからも、若者が政治に参画しやすい環境づくりを進めていきたいと思います。



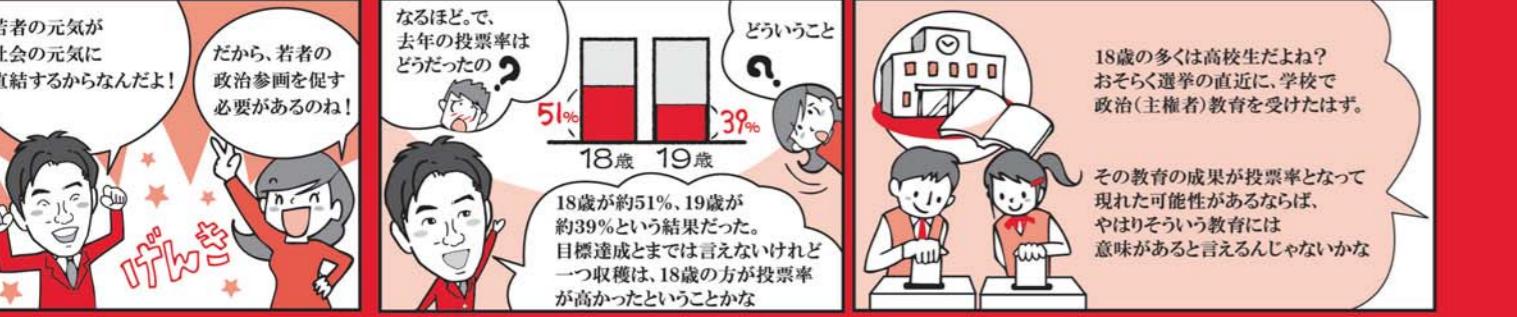
子ども いじめ防止条例 が誕生しました！

12月定例会において、今年度初めから議論を進めてきた「子どもいじめ防止条例」が全会一致で可決され、即日施行されることになりました。これは、依然として起きているいじめによる悲しい事件を無くすため、我が会派が提案・準備を進めてきたもので



あり、私も条例検討委員会の一員として関わることができ、万感の思いが致します。ただ、条例は策定して終わりではありません。社会総掛かりでいじめから子どもを守るという、この条例の一番の理念を着実に遂行できるよう、今後も努力してまいります！

若者の政治参画が未来を動かす!



YES! 9月定例会の総括として 賛成討論に立ちました!

9月20日～10月13日まで開かれた9月定例会では、国の経済対策に呼応する形で大型の補正予算が組まれ、一般会計だけでも約236億円の税金の行き先を審議することになりました。

そして閉会日には、会派を代表して私が賛成討論を実施。以下に、そのポイントを列記いたします。

YES! 賛成の理由① “ふじのくに”づくりの総仕上げを加速化したことへの評価

東京オリンピック・パラリンピック関連として、伊豆ベロドロームへのアクセス道路の整備を前倒しで実施するため1億5000万円が追加。また、事前キャンプ誘致活動を強化するために、オセアニアに現地連絡員を配置するなど、その環境整備に注力し、来る大舞台に向けて気運の更なる醸成を図っています。

今後、韓国忠清南道との友好協定締結3周年、中国浙江省との友好交流協定締結35周年を控えるなど大事な局面を迎える中、県産品の販路拡大推進体制の強化や、海外からの投資促進、県内企業の海外ビジネス展開支援体制の強化等を行うため、通商推進プロジェクトチームを結成。地域外交が、県民にとって目に見える成果を上げられるかが試されています。

YES! 国の経済対策に連動し、適切な予算措置を講じたことへの評価

誰もが活躍できる 社会の実現に向けた投資

昨年7月に相模原市で起きた障害者施設の悲痛な事件を受けて、障害者支援施設や児童擁護施設への防犯カメラの設置を促進するとともに、保育士や介護福祉士の就学資金貸付事業費の助成を行い、子育て・介護現場の環境を改善していきます。

21世紀型のインフラ整備

207億円の公共工事が計上。これにより、道路整備や橋りょうの耐震補強、地滑り対策など、私たちの生活に欠かせないインフラ環境が充実するとともに、ラグビーワールドカップ2019の舞台となるエコパスタジアムの改修も行われる。ただし、オリンピック後を見据えた長期的な視点を持つことを注文付けました。

YES! 賛成の理由③ 富士山静岡空港旅客ターミナルビル関連議案への評価

「富士山静岡空港旅客ターミナルビル関連議案」

この議案は、富士山静岡空港の今後の多路線・多便化を進めるほか、利便性向上や利用促進を図るために、旅客ターミナルビルの増築・改修工事の請負契約を締結するもので、約38億円の大型契約。

地方空港として最もインバウンドの増加率が高い本空港のキャパシティ不足、さらに、本県の進める地域外交やグローバル施策のスムーズな展開を考慮し、賛成しました。

同時に、この投資額に見合う成果が上げられるよう、インバウンド・アウトバウンド双方の空港利用促進を図るとともに、ライフサイクルコストの考え方を徹底し、これから時代にふさわしい地方空港となるよう申し添えました。

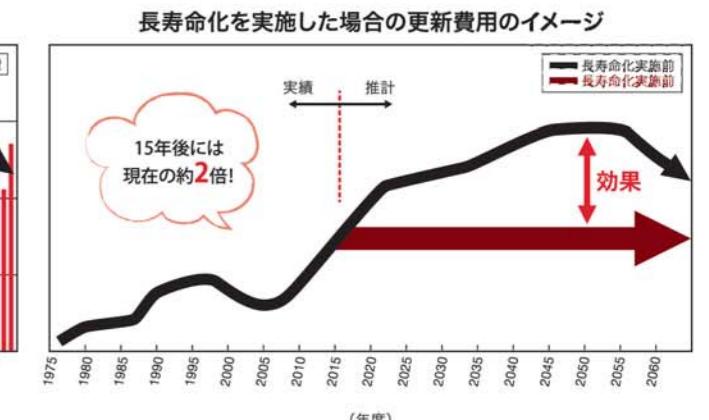
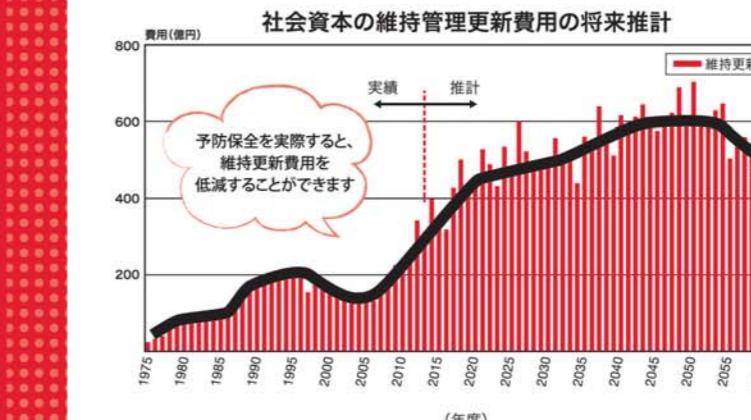
社会資本を大切に後世へ

昨年11月、JR博多駅近くの道路が大きく陥没した映像は、多くの方を驚かせました。今後、本格的な原因究明を図っていくのですが、道路を始めとする社会資本(道路、河川、港湾、下水道、公営住宅など)を適切に維持管理し、将来世代に良い形で渡していくことが、今を生きる私たちには求められています。

ただ、どの自治体も、高度経済成長期に造られたこれらの施設の更新時期が到来しており、今後、多大な維持更新費用が必要になることが見込まれています。そこで静岡県では、平成25年3月に「社会資本長寿命化行動方針」を策定し、「事後保全」から「予防保全」という考え方への転換を進めています。

その効果は、約50年でおよそ2400億円のコスト縮減と言われています。

命に関わる事故を減らすためにも、また後世に大きな負担を残さないためにも、社会資本整備の方をしっかりと見つめていきたいですね。



真の目～大災害の教訓を忘れない～

静岡県ではこれまで、阪神淡路大震災や東日本大震災で生じた尊い犠牲から、建物の耐震化や津波対策の重要性を認識し、特に3年前からは「地震・津波対策アクションプログラム2013」を実行に移しています。しかし、この度の熊本地震で、避難所運営のあり方や車中泊といった新たな課題も浮かび上がったことで、元々あった「静岡県地震対策推進条例」の改正を施すことになりました。

私も昨年、被災地の熊本県内各所を見て回りましたが、多くの教訓を得ることができました。幸いにも、近年は大きな災害から逃れている本県ではありますが、過去の大災害の教訓を決して忘れない、政治の最重要の使命である命を守る施策を着実に前に進めていきたいと思います。

